



2024 年 9 月 20 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

9 / 21 は世界アルツハイマーデー 働き盛りを襲う若年性認知症克服への挑戦 慶應義塾大学病院メモリーセンターにてクラウドファンディングを開始

慶應義塾大学病院では、診療科枠を超えたチーム医療体制で、認知症治療および研究に特化した「メモリーセンター」を開設しております。若年性認知症の患者は、わが国で約 3 万 6 千人いると報告されており、決して珍しい病気ではありません（※1）。平均発症年齢は 54.4 歳であり（※2）、働き盛りの世代での発症となります。したがって、ご本人だけでなく、ご家族の生活にも大きな影響をおよぼします。ただ、今のところアルツハイマー病以外の認知症には疾患修飾薬はありません。この度、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、若年性認知症への研究を推進し、1 人でも多くの患者さんの診断や治療につながる研究成果を得るために「若年性認知症の克服に向けた研究を推進し、治療や早期診断へつなげたい」を公開しました。

2024 年 9 月 20 日（金）から 11 月 18 日（月）まで、1,000 万円を目標にご寄付を募ります。
（プロジェクト URL : <https://readyfor.jp/projects/keio-memory-center>）

出典 ※1 日本医療研究開発機構 認知症研究開発事業、2019 年 ※2 令和 2 年 3 月東京都健康長寿医療センター

若年性認知症 について

65歳未満

早期に発症した認知症を
「若年性認知症」と呼びます。

3万6千人

日本では約3万6千人の
若年性認知症患者さんがいます。

出典：日本医療研究開発機構 認知症研究開発事業、2019年

55.4歳

平均発症年齢が50代であり、
いわゆる働き盛りの世代での
発症が多いです。

出典：令和 2 年 3 月東京都健康長寿医療センター

■慶應義塾大学病院が若年性認知症克服に取り組む背景

- ・ 当院の認知症専門外来メモリークリニックは 2008 年に設立され、初診は約 250 名（2023 年）、再診は月平均で 200 名と多くの患者さんが通院されています。私たちは多くの認知症研究や治療に携わってきた知見を活かして、若年性認知症克服に向けた礎を築きたいと思っています。
- ・ メモリークリニックでは、認知症の根本治療薬に対する臨床治療研究を積極的に行い新しい治療法の開発にも取り組んでいます。さらに、認知症の原因である異常蛋白の蓄積を画像化する PET 検査法（アミロイドイメージング、タウイメージング）の確立にも力を入れています。
- ・ 2023 年末に、アルツハイマー病の画期的な治療薬レカネマブ（レケンビ®）が承認されました。メモリークリニックでは治験段階から多くの症例実績があり、積極的なレカネマブ（レケンビ®）の導入を行っています。

■プロジェクトメンバーの想い

- ・ 「もし自分や大切な人が若年性認知症と診断されたら…」。仕事や家庭での役割を果たせなくなり、共に描いた未来が霞んでいく。記憶が薄れていく自分、あるいは自分のことを忘れていく大切な人。どちらも、想像するだけで胸が締め付けられます。この研究はその厳しい現実を変える可能性を秘めています。早期診断と治療法の開発は、私たちの大切な日常と絆を守る力となります。
- ・ 目指すところは認知症の早期発見、「脳のデトックス」です。レカネマブに最後の希望を持って病院に来た患者さんに「手遅れなのでレカネマブは投与できません」と伝えるのは、大変心苦しく感じています。がんや生活習慣病のように、人間ドックや集団検診で血液検査を受け、異常が出た場合に「もう脳の中でアミロイドの蓄積が始まっています」ということで症状がなくても治療を始められるような環境を整えたいと思っています。これを「脳のデトックス」と呼びます。
- ・ 皆さまからいただくご寄付は、若年性認知症の病態の解明および診断法、治療法開発に向けた研究費等として、大切に活用いたします。1 人でも多くの患者さんの診断や治療につながる研究成果を得るために、本クラウドファンディングへのご支援、ご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

■クラウドファンディングプロジェクト概要

- ・ タイトル「若年性認知症の克服に向けた研究を推進し、治療や早期診断へつなげたい」
- ・ URL : <https://readyfor.jp/projects/keio-memory-center> ※9 月 20 日(金)午前 9 時オープン予定
- ・ 目標金額 : 1,000 万円
- ・ 募集期間 : 2024 年 9 月 20 日(金)9 時~11 月 18 日(月)23 時 59 日間
- ・ 資金使途 :
 - 消耗品費 (iPS 細胞研究用、バイオマーカー探索用の培地や試薬費用)
 - 外注費用 (RNA/DNA 次世代シーケンサー解析費用など)
 - 諸経費 (各種手数料など)
- ・ 形式 : 寄付金控除型 / All-or-Nothing 方式
 - ※All-or-Nothing 方式は、期間内に集まった寄付総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が寄付金を受け取る仕組みです。
- ・ ギフト : 3,000 円~100 万円まで計 8 コース。
 - 「お礼のメール」「研究報告 (PDF)」「講演会へのご招待 (ハイブリッド開催)」など

寄付金控除型 #東京都 #社会にいいこと #医療・福祉 #寄付金控除型 #大学 #研究 #難病

若年性認知症の克服に向けた研究を推進し、治療や早期診断へつなげたい

伊東大介



寄付総額

0円

目標金額 10,000,000円

寄付者 残り
0人 59日

最初の寄付者になりませんか？

プロジェクトの寄付にすすむ



<https://readyfor.jp/projects/...>

コピー

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます



<お問い合わせ先>

■本プロジェクト内容について

慶應義塾大学病院メモリーセンター 伊東大介

E-mail : dito@keio.jp

■慶應義塾公認クラウドファンディングについて

慶應義塾 基金室 keio-crowdfunding@adst.keio.ac.jp

■プレスリリース発信元

慶應義塾 広報室 m-pr@adst.keio.ac.jp